



看護の道へ決意新たに

矢部町の専門学校で戴帽式

横浜未来看護専門学校（矢部町）の戴帽式が6月14日、戸塚区民文化センターさくらプラザで行われた。

戴帽式とは、学生が看護の象徴であるナースキャップを授かることで、看護の道への一步を踏み出す儀式。同校では1年間の基礎学習を修め、進級した2年生に行われる。厳かな雰囲気の中、女性にはナースキャップ、男性にはポケットチーフが授けられた。写真。

学生らは「素直な心と明るさを大切にし、この日を迎えられる喜びと誇りを胸に、看護の道を歩んでいくことをここに誓います」などと述べた。